

臨 床

赤ミミズ酵素サプリメント使用臨床医のコメント集

※書籍「よごれた血管がキレイになる赤ミミズ酵素―

10人の医師が証言する健康回復のすごい力」より抜粋

◎高血圧

(85 ページ～88 ページ)

多数の患者さんの臨床データ

岩田明 医師

岩田先生は現在までに 1,000 名以上の患者さんに赤ミミズサプリメントを使い、脳血流がふえる、動脈硬化が改善する、血圧が下がる、糖尿病にもよいなどの効果を実感しています。効果を確信した岩田先生は、臨床的にどのような改善が起こっているのかを実際の患者さんから比較・調査し、2018 年に行われた第 4 回認知症治療研究会で報告しました。

「短中期投与群（25～365 日）と長期投与群（4～6 年）に分けて、血圧、ヘモグロビン A1c、中性脂肪などの数値を調べ、投与前の数値と比較しました。

短期投与群の患者さんは、48 名（男性 16 名、女性 32 名、平均 79 歳）です。赤ミミズを 1 カプセル中 25mg 含むサプリメントを 1 日 1～4（平均 2.8）カプセル飲んでもらいました。すると半年後には、血圧の上（収縮期血圧）が飲用前の平均約 150 から 138 に、下（収縮期血圧）は平均約 83 から 78 に、はっきり下がりました。中性脂肪も、飲用前の平均約 140 から 100 に、これも明らかに下がっていました。

次に長期投与群の患者さんは 35 名（男性 9 名、女性 26 名、平均 77 歳）で、同じサプリメントを 1 日 2～6 カプセル（平均 3.9）飲んでもらい、同じように飲用前後で数値を比較しました。こちらはさらに顕著で、血圧は上が平均約 146 が 136 まで下がっています。長期投与群ではヘモグロビン A1c も平均 5.8 が 5.5 に下がりました。統計的にはギリギリで有意差とはいえませんが、改善傾向にあることはわかります」

(138 ページ～140 ページ)

血圧はすぐに下がる、糖尿病の合併症予防にも

小田行一郎 医師

コウノメソッドでは、フェルラ酸サプリメント、赤ミミズ酵素などのサプリメントが重要な役割を果たしています。河野医師は、サプリメントがなければコウノメソッドの治療はできない、とも言っています。小田先生も、そこで赤ミミズ酵素サプリメントを知り、使うようになりました。

「最初、赤ミミズ酵素はレビー小体型認知症の症状緩和に勧められていました。レビーの患者さんは意識レベルが低くなったり、無表情になってしゃべらなくなったり、とい

う症状が現れることが多い。それが脳血流をよくすることで改善される、ということでは。

しかしレビーにかぎらず全般的に妄想のある患者さんにはいいと言われてますし、もちろん脳血管性認知症の患者さんにもいいはず。私にはまだ明快な結果の出た症例はありませんが、30人くらいの患者さんが飲用されています」

小田先生によれば、血圧の高い人が赤ミミズを飲むと間もなく下がるそうです。「認知症のご主人のために奥さんが外来に通ってこられるのですが、ご主人が赤ミミズを飲んで血圧がかなり下がったので、やはり高血圧で降圧剤を飲んでいた奥さんも一緒に飲み始めました。すると下がりすぎちゃったので、薬はやめたそうです」

降圧剤を飲んでいた大学の先輩にも勧め、その先生もやはり薬がやめられたそうです。また、同級生で学生時代から100kgくらいあったドクターにも勧めたそうです。

「医者になってどんどん太って、とうとう130kgを超えて糖尿病になってしまったんです。インスリンを毎日100単位ずつ打っていました。危ないレベルです。糖質制限を勧めましたが、日々の忙しさでなかなか難しい。そこで糖質制限のメッカである京都の高尾病院、江部先生のところに就職させて、入院をかねて仕事をさせたんです(笑)。途中で赤ミミズ酵素も飲み始めるとものすごく改善して、インスリンもやめられました」

小田先生は、赤ミミズは糖尿病にも効果があるといわれるが、この先輩医師まで病気が進んでしまうと徹底的な糖質制限でからだから糖を追い出さないかぎり治らない、と言います。

「ただ、血管を守る効果はありますから、糖尿病の合併症の予防のためには赤ミミズは力になると思います。友人に勧めたのも、そのためでした」

糖尿病ではとくに腎臓、眼、脳にある毛細血管がやられてしまうので、その結果として起こる重大な合併症を赤ミミズで予防する意味はとて大きい、ということでした。